

V 地域で支え合い 健康で元気なまちづくり

▶ 施策の体系

- ① 生涯を通じた健康づくりの推進
- ② 充実した地域医療体制の整備
- ③ 安心と生きがいのある高齢福祉の充実
- ④ 地域で支え合う社会福祉の充実
- ⑤ 環境の変化に対応した子育て支援の充実

▶ 10年後の大崎市

- 健康に関心を持つ人が増え、心身ともに健全な生活をしている人が増えている。
- すべての人が利用しやすく、高度で良質な医療が提供されている。
- 安心と生きがいのある充実した生活を送っている高齢者が増えている。
- 地域内で助け合いの環境が整備され、自立した生活をしている人が増えている。
- 子どもを安心して育てられると感じている人が増えている。



私 たちが生活していくうえで、健康はかけがえのないものであり、すべての基本となるものです。今日、健康の維持や増進などに対する市民の関心の高まりとともに、それらを支える保健や医療、福祉に対する要望や期待も大きくなっています。また、住み慣れた地域で、元気に充実した生活を送ることは、市民すべてに共通した願いです。このことから、一人ひとりが健康づくりや疾病予防に取り組むとともに、支援を必要とする人々を地域で支えることが大切です。しかし、社会環境

や生活習慣の変化などから「地域のきずな」が薄れつつあり、高齢者や障害者、子どもを抱える家庭などが孤立し、悩みを抱え込んでしまう状況も見受けられます。子どもからお年寄りまで、あらゆる人たちが地域の中で安心した生活を送るためには、保健・医療・福祉を一体的に取り組み、内容の充実を図るとともに「地域のきずな」を大切にしてお互いを思いやる「みんなで支え合う」地域づくりを進めていく必要があります。

III 地域の個性をいかし 豊かな心を育むまちづくり

▶ 施策の体系

- ① 未来を担う子どもたちの教育環境の充実
- ② 豊かな心を育む生涯学習の充実
- ③ 多彩な地域文化の継承・形成
- ④ 生涯にわたるスポーツ・レクリエーションの振興

▶ 10年後の大崎市

- たくましく確かな学力を持ち、心豊かな児童・生徒が増えている。
- 自主的に学習する人と学習意欲を持つ人が増えている。
- 郷土の歴史や文化を理解し、活動する人が増えている。
- 生涯にわたりスポーツやレクリエーションを楽しむ人が増えている。



子どもたちが自ら学ぶことや働くこと、生きることの尊厳を実感できる教育の充実を図るとともに、事故や事件から子どもたちを守るため、学校・家庭・地域が連携して安全・安心のための環境整備を進めて行く必要があります。また、大崎市には、豊かな自然や個性あふれる文化・芸術などが数多く伝承されており、郷土への愛着と理解を育みながら、固有の歴史と文化の保存・継承に努めていかなければなりません。さらに、すべての市民が、優れた個性と豊かな人間性をはぐくみながら「いつでも」「どこでも」生涯にわたって楽しく自分を磨くことができるよう、市民と行政が一体となって「学ぶ喜び」「文化をはぐくむ喜び」「親しむ喜び」が感じられるまちづくりを進めていく必要があります。

ラムサル条約に登録された蕨栗沼や奥羽山脈のふもとに位置する鳴子温泉郷など、大崎市には身近に自然を体感できる環境が数多くあります。また、江合川や鳴瀬川などの河川には、水に親しむことができる公園も整備されています。この豊かな自然環境を維持し、次世代へ継承していくことは私たちの責

VI 自然と共生し 環境に配慮したまちづくり

▶ 施策の体系

- ① 豊かな自然環境の保全
- ② 身近にふれあえる憩いの場の整備
- ③ 快適な生活環境の保全・整備
- ④ 地球にやさしい循環型社会の実現

▶ 10年後の大崎市

- 自然環境保護意識の高い市民が増え、環境が守られている。
- 身近にふれあえる憩いの場が整備され、満足して利用する人が増えている。
- 居住空間が整備され、居心地が良いと感じる市民が増えている。
- 環境への負荷の少ないライフスタイルが実践されている。



任であり、そのためには、自然環境に負荷の少ない生活を心がけ、限りある資源の有効活用を図る循環型社会の構築が求められています。さらに、環境へ配慮しながらも住み心地の良い生活空間を創出するためには、地域の特性を生かした魅力的で潤いのあるまちづくりを進めていく必要があります。

大崎市は東西に長い地理的な特徴を有し、奥羽山脈から肥沃な大崎平野までさまざまな気象や土地条件などを利用した特色ある農業が営まれてきました。また、古くから河川を活用した水運や、街道が交差する交通の要所として栄えた宿場町や城下町などを背景に、各地域において商工業が発展してきました。しかし、近年の国内外における競争の激化に伴い、大崎市の産業も非常に厳しい状況にあります。このような中で、市民生活の豊かさや地域の活力を高めていくためには、基盤である地域経済全体の活性化を図る必要があります。そのため、産・学・官の機能や役割の認識のもと、協働によるプロジェクトを推進し、基幹産業である農業、林業、商工業、観光業の振興を図るとともに、産業界の有機的な連携の促進や新たな産業創造への取り組みを支援するなど、総合的な産業振興を行う必要があります。



IV 活力あふれる 産業のまちづくり

▶ 施策の体系

- ① 誇りある農業の振興
- ② 新たな期待に応える林業の振興
- ③ 活性化する商工業の振興
- ④ 魅力ある観光の振興
- ⑤ 安定した就労・雇用の支援
- ⑥ 総合的な産業振興の推進

▶ 10年後の大崎市

- 多種多様な高付加価値の農産物が生産・販売され、基幹産業の中心を担っている。
- 森林が適切に管理され、木材の需要が高まるなど林業の再生が進んでいる。
- 商工業が活性化し、地域の活力が向上している。
- 魅力的な観光地づくりが図られ、観光客で賑わっている。
- 関係機関や企業との連携により市民の就労が増えている。
- 総合的な産業振興が図られ、地域経済が活性化している。